

会 議 録 (要 旨)

会 議 の 名 称	平成28年度第1回浅口市行財政改革推進懇談会		
開 催 日 時	平成28年10月31日(月) 14時00分から16時07分		
開 催 場 所	浅口市役所 第一会議室		
出 席 者 及 び 欠 席 者	<p>【委員出席者】 佐藤豊信会長・中西美治副会長・佐藤正人・笠原照美・守屋靖・柿本登志雄・坂本眞一・奥慎二・大橋徳子・妹尾義信・若井勝行</p> <p>【委員欠席者】 山内悦子</p> <p>【事務局】 秋田裕企画財政部長・富田直弘政策課長・ほか政策課3人</p>		
傍 聴 の 可 否	傍聴可能	傍 聴 者 数	0
会 議 次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 協議事項</p> <p style="padding-left: 40px;">1) 本庁・総合支所(分室)のあり方について</p> <p style="padding-left: 80px;">・方針(案)</p> <p style="padding-left: 80px;">・支所(分室)に残す業務</p> <p style="padding-left: 40px;">2) 第3次浅口市行政改革大綱及び改革プランについて</p> <p style="padding-left: 40px;">3) その他</p> <p>3 閉 会</p>		
問 い 合 わ せ 先	<p>企画財政部政策課</p> <p>電話番号 0865-44-9013</p> <p>〒719-0295</p> <p>岡山県浅口市鴨方町六条院中3050</p> <p>e-mail:seisaku@city.asakuchi.lg.jp</p>		

発言者	内 容
事務局	<p>遅参者、後任者の案内。日程、資料の確認。</p> <p>【開会】14:00</p>
事務局	<p>議事に入る前に、栗山市長から後任委員に委嘱状を交付させていただく。</p> <p>浅口市議会議長 中西美治 委員 浅口市コミュニティ推進協議会副会長 柿本登志雄 委員 浅口市金融協議会会長 若井勝行 委員</p>
事務局	<p>続いて、浅口市長 栗山康彦が挨拶をさせていただきます。</p>
栗山市長	<p>参集の礼。今年の3月で合併10年を迎え、国からの交付金が8億円以上削減されることになっているが、そんな中で持続可能な浅口市を作っていかなければならない。行財政改革推進懇談会からは『スリムで効率的な財政基盤の確立』という答申をいただき、各種補助金・交付金の削減や手数料の値上げに取り組んでいるところ。本日は本庁・総合支所のあり方の審議に加え、行政改革大綱・プランの諮問もさせていただきます。</p>
事務局	<p>続いて、市長から第3次行政改革大綱・プランの策定について諮問をさせていただきます。</p>
栗山市長	<p>第3次行政改革大綱・プランの策定について諮問する。</p> <p>(佐藤会長へ諮問書を手渡す)</p>
事務局	<p>市長は他公務のため、ここで退席させていただきます。それでは議事に入る前に、不在となっている副会長について、事務局案として中西委員にお願いしたいと考えているが、いかがか。</p> <p>(委員の拍手により承認)</p>

事務局	それでは、中西委員に副会長をお願いする。ここからの進行は佐藤会長をお願いする。
佐藤会長	それでは、前回から時間が開いているので、復習も含めて本庁・総合支所（分室）のあり方について事務局から説明を求める。
事務局	事務局の方針案について説明。
佐藤会長	浅口市はコンパクトであり、この特性を最大限に活かすことで市民の利便性と行政の効率化を高い次元で両立することができる、とはどういう意味か。
事務局	ふれあい号を活用したり、支所に必要な時に必要な人間を配置するなど、本庁との連携により利便性と効率化を図っていきたい。
中西副会長	案としてはこのとおりであろうが、合併して10年が経ち、4回議会で一般質問もしたが、やっと動いた。難しい事である。どうやって進めていくのか。「本庁のどこにいけばいい」などの問いに的確にこたえられるように。どうやって住民の足を確保していくのか。具体的にどうやっていくのか。
佐藤会長	行政上のシステムの問題にしても、交通システムの問題にしても、どれだけ素晴らしいシステムでも、動かすのは人間。つまり人間（職員）のレベルアップも必要。
柿本委員	支所を縮小するという方針のようだが、そうすると若干のサービスダウンにつながる。なぜ、金光と寄島の両方で懇談会を持つということはできなかったのか。
事務局	意見を聞くことについては、各分野・団体から出ていただいたこの場の皆さんから意見を聞くこの懇談会がスタートと考えている。懇談会からの方針が出て、来年度以降で具体的なことについては地域の代表の方などに意見を聞いて進めていきたい。
佐藤会長	この懇談会では、基本的な方向性について検討していき、そこから地域の人たちと意見交換をしながら進めていく必要がある。

柿本委員	要望をしても本庁に確認をしてみる、というような事業は集約してもいいと思うが、それぞれの地域の実情を把握しているのか、という心配がある。
中西副会長	すぐに対応ができないといった問題があり、支所が機能していない。職員同士の融和ができていないように感じる。コミュニティについては旧3町で育ち方が違うので、やり方が1本に統一されるようなことにはならないように感じている。
佐藤会長	上手くいくところといかないところが出てくる。そのあたりを調整しながらやっていく必要があるが、できるだけ調整が少なくて済むようなスタートが切れればいい。
守屋委員	本庁から出向いていくような発想を取り入れないと、住民サービスの維持はなかなか難しいと思う。
佐藤会長	交通弱者のケア。現状よりも不便になること・ものを少なくする必要がある。どこまでのレベルダウンが許容範囲なのか。浮いたお金をどこに投資するのか。方向性を決めて。具体の検討をする中で行財政改革とリンクしてくる。
中西副会長	財政の硬直化についての説明があったが、平成27年度の地方交付税の額は約52億円で、今後8億3千万が減額される。投資するようなお金が無くなる。
佐藤会長	成長のためのお金が無くなるということ。次の世代を育てていくためには、ある程度の投資も必要になる。そのためには、ある程度の不便も受け入れなければならない。
佐藤委員	先進地を研究しなければ。支所の職員数や業務などは類似団体と比較すべき。合併した自治体の先進地、例えば四国中央市など。
佐藤会長	佐藤委員の話にも出てきたので、次の支所の業務について事務局の説明をお願いします。

事務局	支所に残す業務について説明。
佐藤会長	データに基づいた説明がないと市民に伝わりにくいのではないかと聞いている人が分かるように努力を。
奥委員	支所が縦割りでは効率的にならない。マルチな能力が求められる。一人の職員でいろんなことができるように。収納は口座振替をもっと推進してはどうか。あと、移動にかかる経費の内容と、職員の削減効果額には、給料だけでなく社会保険料なども入ると思うが、入っているのか。
事務局	移動にかかる経費とは、会議等による移動時間が削減されることによる職員の勤務時間の確保といった視点から算出している。職員の削減効果額は、1年間の給与と手当の平均で算出している。
奥委員	実際に削減が可能な額で考えた方がいいと思う。
佐藤会長	幅広い業務に対応できれば、組織自体がフレキシビリティ（柔軟性）を持ってやっていくことができるので、職員の資質向上・多能工化というのは重要なこと。
柿本委員	同じ市役所の中で、横の連携が取れていない。取得した情報は、その情報に関係する部署に伝達しておかなければ。また、職員毎に仕事量の波があるように感じるが、その波がより平坦になるように内部で工夫をしなければ。先ほどの説明にもあったが、総合窓口の考え方を取り入れ、1つの案件でワンストップ対応ができるようにしていくべき。
坂本委員	本庁・支所の再編案で経常収支比率がどのようになるか試算しているのか。また、その再編はどの程度の期間を持って実現していくのか。
事務局	経常収支比率については、様々な要因によって算出されるものであり、試算するのが困難。期間については、決定したものではないが、1つの基準として平成32年度まで合併特例債が使用できることから、施設等の大きなものが必要になった場合は利用が検討できるよう、そこを視野に入りたい。ただし、これには市民や議会の声を集約

	<p>してからの話になるので、慎重に進めていきたい。</p>
坂本委員	<p>経常収支比率などで数値目標を立てないと進めていくことができないのではないかと。</p>
佐藤会長	<p>今後長い期間をかけて借金を返していくことになるので、合併特例債が本当に適切なのかは考えないと。行政改革とも関係するので、具体的な方向性を決めていかなければ。意見が一通りでたので、ここで残っている分室の業務について事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>分室に残す業務について説明。</p>
佐藤会長	<p>今回は統廃合の方式について説明があるということだが、事務局には1つお願いをしたい。提案する議題とそれを説明する時間をあらかじめ計算し、決まった時間の中で有意義な議論ができるよう準備をして懇談会を開いていただきたい。続いて、第3次行政改革大綱・プランの策定について事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>大綱・プランの概要、策定スケジュールについて説明。</p>
佐藤会長	<p>資料はイメージができるような図で示し、委員のみなさんに理解していただき、そこから必要な数値を説明していくように努力を。最後に、その他で何かあるか。</p>
事務局	<p>懇談会の任期が11月9日で切れるので、引き続き再任いただくようお願いする。それでは最後に中西副会長からあいさつをお願いする。</p>
中西副会長	<p>行財政改革は避けて通れない重要な問題。今日の事務局の提案、会長の指摘などを含めて委員のみなさんには建設的な意見をいただいた。先が見えないが問題だが、決めていかなければいけない。引き続きみなさんから意見をいただき、持続可能な浅口市になるような答申を作るため協力をお願いしたい。</p> <p>【閉会】 16 : 07</p>

